



2022年 3月20日  
第171号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 横浜地本「22春闘 会社回答に関する緊急アンケート」 組合未加入者46名を含む311名が回答！ 会社は834件の職場からの『声』を受け止めるべきだ！

2022春闘は3月17日、第3回団体交渉にて会社回答を受けましたが、JR東労組は持ち帰り組織内で議論を行っています。横浜地本は「22春闘 会社回答に関する緊急アンケート」を実施し、本日までに311名から834件の声をいただきました。ごく一部を紹介します！

55歳以上には定期昇給がない。ベアがなければ何ら生活向上が望めない。今後、若手もこのことに直面するので、定期昇給ができる制度にすべき。

定期昇給があることが前提で家計のやいぐいをしている。経験値が上がる分だけ、判断力やその的確性が向上する。そして新技術への対応も怠らない。

去年の分を返してほしい。真面目に働いてきたのに、ペナルティ的な扱いは納得できない。

昨年カットした分の補填の言及がないのがおかしいと思う。

モチベーションの低下。仕事に対する誇りもなくなり、JR東日本のブランドも落ちていると感じる。離職者が増えているのも心配。魅力ある会社にしてほしい。

黒字経営の時に無難な数字しか提示してこないのに赤字経営になった途端係数2や係数4で最大限の回答というのは納得がいかない。社員の事を舐めてると感じる。これが最大限の回答なら、黒字に転じた時にはそれなりの見返いを求めたい。

定期昇給は年功賃金を維持するためにも係数4で出すのは当然。会社回答で定昇とベアを同列にするのは本質を誤魔化し、賃金制度の改悪、年功賃金をやめることを考えていると思わざるをえない。

最大限の回答と言っているが、定期昇給完全実施は当然であり、組合員の声を反映していない。

一部社友会の要請に応えた、社友会があれば組合はいらないという実績をつくろうとしているのではないか？

21春闘でカットされた係数2が加算されてなく、誠意が感じられない。

社友会が出した情報に「定期昇給4出してほしい」と書かれていたが、まさしく社友会のおかげとして、社友会への求心力をつけるきっかけではないかと思う。



## 要求実現に向けて最後の最後までたたかおう！